

CASBEE®-建築(新築)

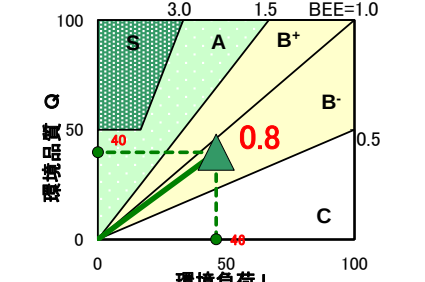
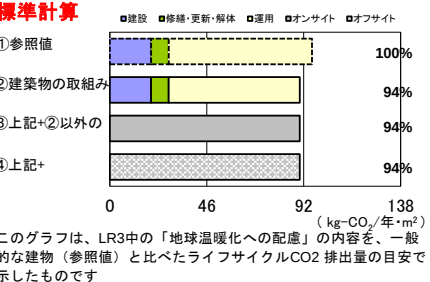
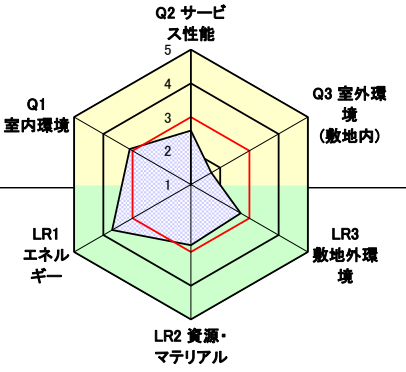
評価結果

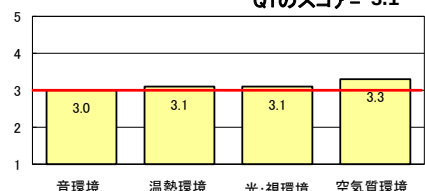
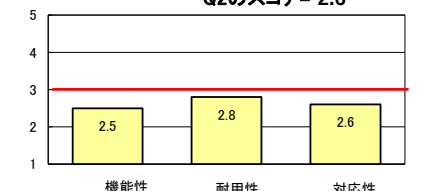
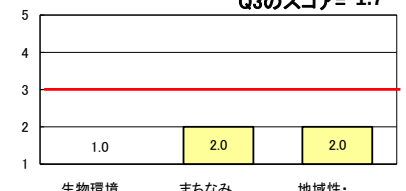
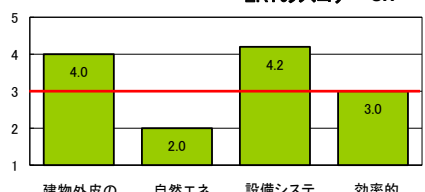
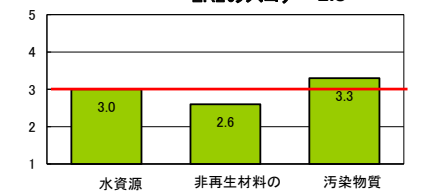
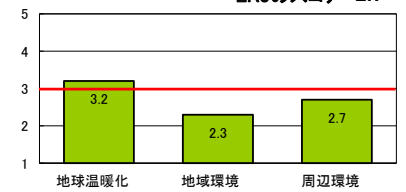
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	大東建託(株)様マンション新築工事	階数	地上14F
建設地	千葉県千葉市中央区問屋町345-6	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	111 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年9月1日
敷地面積	835 m ²	作成者	石井賢吾
建築面積	328 m ²	確認日	2022年9月1日
延床面積	3,709 m ²	確認者	鈴木義光

外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE = 0.8 ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 	標準計算 ☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆  ① 参照値 ② 建築物の取組み ③ 上記+②以外の ④ 上記+ (kg-CO ₂ /年・m ²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア = 2.5		
Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1 	Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.6 	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7 
LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1		
LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7 	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.8 	LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.7 

3 設計上の配慮事項		
総合 住宅専有部においてほぼ全住戸断熱等級4相当の断熱性能により熱負荷抑制に配慮し、潜熱回収型給湯器やLED照明などの高効率設備の採用により可能な限りエネルギー消費削減を図った設計とした		
その他 特になし		
Q1 室内環境 外皮性能 住棟平均評価にて等級4相当の達成や、内装にF☆☆☆☆建材の採用によりシックハウス症候群に配慮した設計とした	Q2 サービス性能 出来る限り耐用年数の長い部材を使用し環境に配慮した設計とした	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 住棟平均UA値0.63/BEI0.89を達成	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用し、躯体と仕上げ材を容易に分別可能な設計とした	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率94%を達成

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される